

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
N201	現代会計論 I	2年	講義	2	飯島二郎
授業概要 企業会計とは、企業が営む経済活動およびこれに関連して発生する経済事象について、貨幣価値で認識・測定・記録・報告するシステムです。企業会計は報告の対象あるいはその目的の違いによって、財務会計と管理会計に区分される。現代会計論では、企業外部の利害関係者に対して、企業の一定期間の経営成績と一定時点の財政状態を報告する財務会計について学習します。とくに社債の発行、株式の発行、利益処分など株式会社に特有な会計分野を中心に学習します。					
到達目標(学習の成果) 複式簿記の基本原理を理解し、商業活動を行う株式会社の取引を仕訳し、総勘定元帳への記帳と決算の一連の処理方法を修得する。また、社会的にその実力を認定される日本商工会議所主催の簿記能力検定試験の2級以上の資格取得を目標とする。(DP 2)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	現金・預金	現金過不足・銀行勘定調整表			
2	商品	商品有高帳、商品評価損・棚卸減耗費			
3	特殊な商品売買	未着商品・積送品・受託販売・試用販売・割賦販売・予約販売			
4	手形取引と保証債務	不渡り・裏書・割引・保証債務・手形の更改・自己受為替手形・荷為替			
5	有価証券	有価証券の売買・差し入れ・保管・貸し付け・借り入れ			
6	固定資産	有形固定資産の減価償却・売却・買い換え・除却・廃棄、無形固定資産と投資その他の資産			
7	引当金	修繕引当金・製品保証引当金・退職給付引当金			
8	株式会社の純資産(資本)	株式会社の設立・繰延資産・増資・資本剰余金と利益剰余金			
9	剰余金の配当	剰余金の配当と処分			
10	社債	社債の発行・利払い・社債の期末評価と社債発行費の償却・社債の償還			
11	株式会社の税金 伝票	株式会社の税金の種類、5伝票制伝票の集計			
12	特殊仕訳帳	複合仕訳帳制における現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳・売上帳			
13	本支店会計	本支店間取引・支店相互間取引、財務諸表の合併			
14	決算	決算整理・精算表・修正後試算表・大陸式決算法			
15	損益計算書と貸借対照表の作成	損益計算書と貸借対照表の作成			

準備学修(授業外の自己学修)

授業に出席する前に、必ず自ら問題を解き、理解できた内容と不理解の分野を明らかにしてから受講してください。学習内容を理解できても誤りなく正確に迅速に会計処理ができなければ本講義の目標を達成することはできません。繰り返し問題を解いて実力を向上させてください。

成績評価の方法・基準(%表記)

学期末試験 60%， 小テスト 20%， 課題等の提出 20%

観点	S	A	B	C
基本的営業活動の会計処理を理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
株式会社の会計を理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
財務諸表の作成方法を理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。

教科書

『スッキリわかる 日商簿記 2 級 商業簿記 第7版』TAC 出版

参考書等

『最新段階式 日商簿記検定問題集 2 級 商業簿記』実教出版

履修上の注意・学修支援

本講義を履修する場合は、『簿記論 I・II』を履修しておく必要があります。
この授業は自主的な学習を基本にします。テキストを何度も読み込んで問題を解くなど、必ず予習をしてください。もし自主学習を進められない分野・内容がある場合は、事前に必ず相談してください。毎日1時間以上の自主学習を必ず定着させてください。